

## ALL STAFF

Vol.47  
2021.10

オールスタッフニュース

オールスタッフ &amp; ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズの広報誌

## News

ミュージカル

再演決定

遠ざかる  
ネバーランド

## 「遠ざかるネバーランド」再演決定

## 演出家の渋谷真紀子さんに聞く

朝日新聞記者 山根由起子

永遠の少年を描いた英国の名作「ピーターパン」に現代の女子高生の物語を重ねたオリジナルミュージカル「遠ざかるネバーランド」。ほさかようさんの脚本作品で、これまで何度もストレートプレイで上演されてきましたが、2018年にイッツフォーリーズが北澤秀人さんの演出で初めてミュージカルで上演しました。来年3月に新進気鋭の渋谷真紀子さんの演出で一新します。

コロナ禍で人とのつながりが希薄になっている現代、渋谷さんに演出の狙いや作品にかける思いを聞きました。

作品には、空を飛びたいと願う17歳の女子高生、上田いづみが登場します。自らをウエンディと名乗り、ピーターパンを探しに行きます。フック船長や妖精のティンカーベル、タイガーリリーなどおなじみの人物が登場。ファンタジーと現実が交錯します。空を飛びたくない拒む少年も現れて……。

渋谷さんは「生きることや大人になることのもろさや怖さが描かれています。伏線が張り巡らされたストーリー展開で、サスペンス的な面白さもある人間劇です」と、魅力を挙げます。

渋谷さんは現在、オーストラリアに在住。父親の仕事の都合で3歳から8歳までニューヨークと香港で育ちました。慶応大を卒業後、博報堂を経て、渡米、演劇を学びました。16年に「イマージュシアター ピーターパン」のニューヨークワークショップ公演と北京旗揚げ公演で演出助手を務めるなど活躍しています。

ピーターパンへの思い入れも強く、子供のころ、弟や妹とピーターパンごっこをした思い出があるそうです。「私がピーターパン。弟をフック、妹をティンカーベルなどいろんなキャラにさせましたね。ホリプロのミュージカル『ピーターパン』も見て、オーディションを受けたって思いました」

日本に帰国後、小学校の夏休みの課題で、ピーターパンの飛び出す絵本を作りました。「完全には周りになじめず、違和感を抱えていました。窓の向こうのニューヨークに戻りたいという気持ちがあって、自由に楽しいネバーランドに憧れたのかもしれない」

作品ではファンタジーと現実世界が重なり合っています。演出ではどう工夫するのでしょうか。



「現実世界はリアルな芝居で見せ、ネバーランドの世界は違和感を含ませながら展開し、うまく入り交じるようにしていきたい。分断された違う世界ではなく、幻想と現実のグラデーションの層を細かく重ねて自然に移行するようにしたいです」と話します。

渋谷さんにとっての「ネバーランド」はどんな世界でしょうか。「多様性が尊重される世界」と言います。「変わった人たちが同じ島に住んで、争いもあるけれど、楽しく助け合っています。ダイバーシティな場所ですね」

主なメインキャストはオーディションで選びます。登場人物の心情の掘り下げも見どころです。ピーターパンは「孤独で寂しがり屋で、自分からは助けを求められないキャラ。それを乗り越えるためにとびきりチャーミングで元気にしています。強くカッコよくてカリスマ性があります」。ウエンディを名乗る上田いづみも「孤独で寂しがり屋。思いはすごくあっても、言葉に出して言えない。表情の切なさや、弱さと強さの刃(やいば)が出せるといいですね」と渋谷さん。

吉田さとるさん作曲の「翼はいらない」「一緒に飛ぼう」など、数々のミュージカルナンバーも魅力です。「繊細な旋律で、キャラごとの個性が豊かでバリエーションがあります。言葉がメロディーに乗って心に入ってきます」と言います。

さて、ピーターパンといえば、永遠の少年ですが、皆さんにとって「もう子どもじゃない」と思ったのはどんな時でしたか。渋谷さんは「自分で何でもやれるわけではない、出来なくても決して恥ずかし



くないんだって分かり、助けを求められるようになった時に大人になったと感じました」と振り返ります。

ここ近年、小中高校生の自殺者が増えており、厚生労働省の統計によると、20年には全国で479人にも上りました。

帰国子女だった渋谷さん。思春期には、変わっていると遠ざけられないよう、皆を楽しいことに巻き込むことが処世術だったと振り返ります。「日本にも外国にも居場所がなく、生きることの大変さにつまずいたのが12歳。17歳の頃は心の声を封じ込めていた苦しさや、自分が自分でないような感覚に悩んでいました」と吐露します。高校時代は英語演劇部で部長を務めていました。渋谷さんの救いになったのは演劇でした。だからこそ、「作品から生きることや命の大切さを感じてほしいですね。一人一人の命に同等の価値があり、どんなに孤独でもさし伸べられる手があると信じてほしい。手と手を取って助け合うことの大切さを伝えられたら」と話します。

作品に登場する「空を飛ぶ」という言葉やネバーランド。何を象徴するのでしょうか。一人一人に語りかける作品になりそうです。

### 演出・渋谷真紀子

全米演出家振付家組合準会員。ブロードウェイ版「アリージャンス」の演出家奨学生に選出され、演出助手を担当。ブロードウェイ版「ウェイトレス」、リンカーンセンターコンサート版「秘密の花園」にも携わり、China Broadway Entertainment / Broadway Asia「Neverland:The Peter Pan Immersive Entertainment」NYトリアウト公演、北京公演の演出助手を務める。

近年の日本での演出作品は、ブロードウェイミュージカル「THE WIZ」、「FAME」、国際共作ソングサイクル「WeSongCycle」、渋谷音楽祭ストリートミュージカル「SHIBUYA FINDS YOU」(作・演出)、ミュージカル「KAGUYA織り成す竹取物語」など。直近では、オフブロードウェイ受賞作曲家との配信ショートミュージカル「BLOOM」企画演出。ほか「アリージャンス」、「EDGES」、翻訳や演出助手・通訳などでも活動中。



### Bookライブ けく「森が海をつくる」

青音協スペシャルバージョンで全国巡演

昨年8月、谷川賢作さんと立ち上げたBookライブ「けく」の3作品のうち、「森が海をつくる」(絵・文＝葉 祥明)が、子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業の一環として、巡演することが決まりました。特定非営利活動法人日本青少年音楽芸能協会(青音協)の作品として取り組む、特別バージョンです。

絵本をあらゆる角度からライブとして楽しむ形は変えず、イツフォーリーズの藤森裕美の語り、水谷圭見、福岡美里、向谷地愛、藤田朋花のイツフォーリーズのメンバーのほか、シンガーソングライターのかかはしべんさん、TAP DO! のポケさん、大道芸人のミュージシャンのタカパーチさんが加わり、谷川賢作さんとともにエンターテインメントの幅をより広げてお届けします。



初演舞台より

【スタッフ】  
脚本＝ほさかよう(空想組曲) 演出＝渋谷真紀子  
音楽＝吉田さとる 美術＝野村真紀 振付＝三枝宏次  
主催・企画・制作＝株式会社オールスタッフ  
ミュージカルカンパニー イッツフォーリーズ

【入場料】(全席指定・税込)  
前売 6,500円/土曜ソフレ割 6,000円/U25ほか割引チケットあり  
【前売開始】2022年1月予定

俳優座劇場		2022年	23日	24日	25日	26日	27日
		3月	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
13:00						★	
14:00	★			★			★
18:00						☾	
19:00	★		★				

※ ☾ はアフターイベントあり

きたく子ども劇場主催公演 北とぴあ つつじホール		18日	19日	
		3月	(金)	(土)
15:00			★	
19:00	★			

初演の舞台より



ほかにも、青音協からはクラシックジャンルと、ノンバーバルジャンルの2作品を提出。様々なアーティストのコラボ企画として、全国の小中学校を巡演いたします。子どもたちの体験の場、鑑賞の場がこの2年間に減少し続けていることが危惧されている中、この状況に負けず、安全を期して努力をして出会いの場を作っている創造団体の努力は、私たちだけではありません。ミュージカル「小さい「つ」が消えた日」も全国の学校への巡回もスタートしましたが、まだまだ公演の延期、中止の不安は続いております。子どもたちの笑顔と、これからの可能性を広げるためにも、いい舞台を届け続けたいと願っております。(土屋友紀子)



左から榎木津礼二郎役・北村諒、中禅寺秋彦役・小西遼生、関口 巽役・神澤直也、木場修太郎役・吉田雄

11月10日(水)～15日(月)  
オルタナティブシアター

11月10日(水)～15日(月)までオルタナティブシアターで公演するミュージカル「魍魎の匣」。京極夏彦さんの人気小説を板垣恭一さんがどう料理していくのか。稽古が始まったばかりの稽古場で、吉田雄と神澤直也に意気込みを聞きました。

吉田 キャスティングされた時は、作品に対する重みを感じました。この壮大な原作をイツフォーリーズがミュージカルにするという楽しみと同時に、どのように創り上げるのかに今は興味が大きいです。原作のファンの間では「レンガ」と称されている程、厚さのある小説ですが、読み始めると一気に読了しました。稽古は始まったばかりですが、これをミュージカルとしてどう表現するのか、今でも全く想像が付きません。



木場刑事を演じるにあたり、日常生活でも既に「刑事脳」になっているかもしれません。刑事役を演じるのは初めてなので、物事を順序立てて考えてみたり、自宅でも『テレビのリモコンを定位置に戻していないのは誰なんだ!』あ、自分か、みたく(笑)。木場刑事には憧れの女優がいるのですが、私は菅野美穂さんが素敵だなと思っています。ただ、役を作るというよりは、その人の人生を背負う、人間性に溺れる感覚で木場という不器用で熱血な男になりきりたいと思います。稽古が始まりましたが緊張しきれません。と同時に作品が出来上がる過程が楽しみです。その狭間で揺れている状態です。自分以外の登場人物では、鳥口が面白いと思います。飄々と物事を運びながら、実はすごく頭が良い。捉え所がなさそうで愛されキャラがとても魅力的で羨ましい。あとは、久保竣公の家に乗り込むところの青木の役は是非やってみてくださいね。小西遼生さんは、第一印象は「男前」です。1日でもいいからあんな顔になってみたい……。稽古場では、とてもフランクな方です。小西さんの雰囲気だけで、いい作品と一緒に創れるという確信を持ちました。他にも初めて共演する客演の方が多いので、皆さんに興味津々です。特に木場は人との絡みが多いので、皆さんと仲を深めていければいいなと思っています。堅苦しくなくメッセージを伝えられるのが演劇だと思っています。特にミュージカルは音楽があるので、さらに分かりやすく伝えられる。その伝え方で悩む部分もありますが、メッセージがお客様に伝わった時にはやりがいを感じます。ある俳優の方が以前仰っていましたが、『役者はずっと何か足りていない方がいい』という言葉が常に頭にあります。自分に満足して、山頂が見えてしまったら役者を辞めた方がいいと思っているのです。高みを目指し続けていきたいと思っています。板垣さんがこの作品をどのように調理をするのか、一つの食材として貢献できるように頑張ります。



神澤 2019年にストレートプレイを拝見しました。内容もさる事ながら、心に強く残る作品だったという記憶があります。同じ原作をミュージカルにするということは、素直に嬉しい一方、武者震いしています。出演が決まってから、京極夏彦さんの「百鬼夜行シリーズ」を読みました。様々な背景を抱えた登場人物が一同に集まり、複雑に絡み合う人間関係や伏線を最後に一気に回収する爽快感が魅力だと思います。この作品は「匣」がキーポイントだと思うので、私が演じる関口巽なりの「匣」を全身で表現したいと考えています。



また、若干、鬱気味というか、ネガティブなところが、僕と関口は似ていると思います。僕は人見知りしてしまうところがあるんです。ただ、仲良くなるのも早いので、打ち解けてからはうるさい程によく話しかけます。そのバランスを今は研究しています。関口は小説家ですが、実は僕も前から脚本や物語を書くことに興味がありました。これを機に物を書くことに挑戦してみようと思っています。関口以外の登場人物では、鳥口役を演じてみたいです。ストーリーテラーですごく頭が良いので。もしくは榎木津も魅力的ですね。あの自由さが自分にもあればいいなと思います。敦子は一人だけずば抜けて明るいので、唯一、心が休まるオアシスだと思います。京極堂を演じる小西遼生さんは、寡黙な方と思いきや気さくな方なんだなと思いました。小西さんの魅力的な歌のスキルを盗むべく、常に後ろに張り付いています。そして劇団OBの駒田一さんには密かに憧れています。以前、駒田さんが一人で13役の早替えをやられていた舞台を拝見した時に『この人は何なんだ……!』と驚きました。やっとな共演できるのがとても嬉しいです!僕は、ありのままでもいい、いつも自然体でいたいと思っているので、常に神澤直也という人間そのものでありたいと思っています。その「神澤直也」に対して、お客様の反応や拍手を頂いた時が最高に気持ちがいいです。今回は体力勝負になるだろうと思っているので、板垣さんや共演の皆さんについていき、作品と戦うためにもたくさんご飯を食べて体力をつけます!

今回の企画は、板垣恭一さんとの『新作オリジナルミュージカルと一緒に創りましょう』という会話から動き始めました。公演の情報解禁後から各方面で取り上げて頂き、嬉しいことに前売開始日に前売券は完売となりました。その期待に応えられるように、今まで観たこともないような、日本のオリジナルミュージカルをお届けすることを約束します。観劇後は皆様の心が「みつしり」と密で満たされますように、願っております。(松本峻汰)



# おジャマします! となりの稽古場

#19 劇団俳優座

レポート 土屋友紀子

劇団・俳優座 青山杉作、千田是也、東野英治郎、東山千栄子ら10名が1944年創立。16年かけて俳優座劇場建設と、俳優座演劇研究所附属俳優養成所の活動とともに戦後発展。現在劇団員は約100名。

次回公演「面と向かって」  
2021年11月5日～14日 俳優座劇場

俳優座劇場のあるビルは1980年に再建されましたが、1954年当初は夢を実現するために俳優座劇団員はギャラの90%を積み立てたそうです。ビルの5階にある稽古場は、床にも壁にも歴史を感じさせます。お話を伺うのは真鍋卓嗣さん。学生時代から音楽活動と、演劇活動を同時進行しながら、稽古場を点々としてきた経験を持つそうです。なので、六本木のだ真ん中に常設の稽古場があるなんて、恵まれた環境にいると実感しているそう。稽古場に一日中いられたら楽しいだろうなという舞台への憧れから、2003年に入団。演出家デビューは2009年の稽古場LABO公演。その才能はあっという間に注目され、昨年度の紀伊國屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞優秀演出賞をダブル受賞をされました。稽古場公演の演出デビューでの経験が未だに蓄えとなって積み重なっているそうです。「稽古場公演は高さがあるのは気に入っているけれど、それ以外はやりにくく、演出も四苦八苦」と謙遜していましたが、それだけに評価があると

嬉しいとか。東日本大震災の時は場当たりの真っ最中で、劇団メンバーが凍り付いている中、道具の中に控えたまま天井から宙吊りだった俳優もいたそうです。幕が開かない舞台はないと信じていたのに、公演を中止せざるを得なかった事は、とても恐ろしかった震災の体験と共に、本当にショックだったと話します。その経験が現在のコロナ禍で、幕の開かない舞台をどう受け入れるかにも繋がっているそうです。  
新社長に有馬理恵さんが就任。未だ劇団創設者の千田是也先生の声が聞こえるという稽古場を、これから有馬さんもどう守り、いい意味で歴史を破っていくのか、大きな課題もあるかと思えます。様々な受賞をされ、劇団の取締役としても先陣を切っている真鍋さん。歴史ある大きな劇団に新しい風を吹き込むであろう言葉のひとつひとつに、温かみと力強さを感じました。



▲劇団の稽古場の入り口。控えめな表札。



▲次の東京公演の稽古スケジュールが壁にびっしり!



▲分刻みのスケジュールの真鍋さん。笑顔が素敵です。

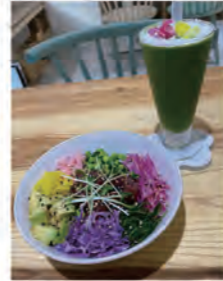
◀総会前の稽古場、ちょっと緊張感漂う空気です。

## 蔵前MAPをつくらう

**Paradise Poke**  
東京都台東区蔵前2-4-8 デュオフラッツ蔵前1階  
電話 03-5829-3994  
営業時間 水～月11:00～22:00 日曜営業  
※現在、営業時間は20時(L.O.19:30)まで



まぐろのポキボウルはコシヒカリの上まぐろ、枝豆、おかひじき、生姜、たくあん、紫キャベツ、紅芯大根、カイワレ、白黒胡麻。アボカドをトッピング。スムージーもいただきました!



K-FRONTビルを出て浅草方面に歩くと、最近オープンしたばかりのカラフルで可愛いお店「Paradise Poke」があります。オーナーの小笹恵さんは、前回紹介した浅草橋から徒歩1分でお馴染みの居酒屋・蔵家の2階にある焼き鳥屋「ことり」に続き、今年7月9日にこのお店をオープンしました。Paradise Pokeのポキボウルはオーストラリア風!小笹さんがオーストラリア旅行でポキボウルを食べて感銘を受けて、この蔵前にお店を出したそうです。とにかくお店がとっても可愛く、イツフォーリーズの女性劇団員のSNSには可愛い壁紙やプランコの席の写真がチラホラ見受けられるほど。  
オススメはまぐろのポキボウルとサーモンのボウル!まず見た目が可愛い!カラフルで映えます。ドレッシングもお店の手作りだそうで、本当に美味しいです。ちなみにお肉のポキもあるので、自慢の鶏肉も味わえます。スムージーやトロピカルジュース、自家製レモンシロップのレモネードなど、カフェメニューも充実。ディナー・週末はアラカルトもありで、カルパッチョやガーリックシュリンプなどお酒と一緒に楽しめます!  
店内は、なんとワンちゃんも入れます!次は愛犬と一緒にいきます!(福岡美里)

## 音楽出版

オールスタッフでは、いずみたくの楽曲をはじめとする著作権管理も事業のひとつです。最近、使用された「いずみたく楽曲」をご紹介します

### いい湯だな

2021年8月10日～ LINEMO ラインモだモン「新プラン」篇(TV・CM)

### 見上げてごらん夜の星を

2021年4月7日リリース 石丸幹二「Orchestra Concert 2016 & Online Live」(DVD)  
2021年7月7日リリース 純烈「純烈コンサート 2020 YOU ARE MY SUNSHINE!!!!」(DVD)  
2021年7月14日～ ヤマトホールディングス企業「治療を待つ方々のために」篇、「いつでも買える日常へ」篇(CM)

### 恋の季節

2021年9月15日リリース BEGIN「沖縄からうた開き!うたの日コンサート2020 in 石垣島」(DVD)

### アフリカ象とインド象

(管理楽曲/作曲=富田 勲)  
2021年9月8日リリース クレイジーケンバンド「好きなんだよ」(CD)



四日市 PUZZLE「衝撃!トレジャーアイランド」の発表を終えて  
2021年8月9日(祝・月)  
四日市市勤労者・市民交流センター多目的ホール

四日市PUZZLEとイツフォーリーズが関わってから17年。長年続ける原動力ってなんだろう?とずっと思っていました。PUZZLEのメンバーは不思議な空気感を持っています。熱いパワーやノリノリの雰囲気ではなく“静か”なのです。でもやり始めると何時間も稽古して、大人達はがんがんだメ出しをします。参加する子どもたちとそのOB、OGそしてフォローする大人は毎年、次年度は何がしたいかをメンバーで話し合い、そして私たちと一緒に舞台を創ります。  
2020年の夏に向けての公演は公民館が閉鎖となり、稽古時間がほとんど取れなかったため、皆で作戦をたてました。2部構成の前半の芝居部分は諦め、後半のダンスはリモートで開始。彼らが振付するナンバーもたくさんあるため、稽古時間をダンスに当てたい。しかしダンスだけではなく何か違うことを……そう考えて出した案が、MCを即興でやる方法でした。くじを引き、そのお題をもとにダンスの紹介をするという方法です。それは難しいように思えましたが、結果、参加者は楽しそうにその壁を乗り越えて行きました。無観客での発表になりましたが、公演を実施することに意義があったと思います。  
そして、今年度は、PUZZLEの台本チームが台本を書き上げ、前年度にできなかった芝居の部分の台本を練り直して再挑戦することにしました。ところが最初に予定していた公演会場が使用出来ないため、急遽会場を変更。少し広めの会場となりました。  
PUZZLEのメンバーが作った台本はかなりせりふの量も多く、そのせりふをマイクなしで上演しなくてはなりません。マスクをつけて稽古するダンスチームに「大きな声で!」と声を掛けながらも、声を出して大丈夫なのだろうかと不安にもなりました。その都度、私達フォーリーズも何回も話し合い、感染症対策の検証をし、何を狙っているか見極めながら進めました。最終的に、客席を半分に制限しての公演でしたが“チームで挑戦出来た”、そんな発表が出来たと思います。思う存分、この事業に関わったこの2年、彼らの内に秘めた、パフォーマンスに対する熱いパワーを感じる事が出来ました。……依然として外面的には静かなんですが。(米谷美穂)



## イツフォーリーズのワークショップ



長岡リリック ジュニアミュージカル「森が海をつくる」公演を終えて  
2021年7月18日(日) 長岡リリックホール

リリックジュニアミュージカルのサポータースタッフは、かつてメンバーだった卒業生や、その保護者の皆さんです。振付・歌・台詞と一緒に覚え、お休みの子どもたちの代役をし、衣裳・小道具を作り、参加者の子どもたちだけでなくその家族の心のケアまでしてくれます。子どもたちのために、こんなに時間と労力を尽くしてくれる、本当に尊敬する方々です。普段でも大変な事業ですが、この2年間は感染症対策もあり、さらに行う事が増えて大変だったと思います。  
本番5日前、参加者のうち2名が通う学校でクラスターが起きました。学校全体で自宅待機となったため出演が出来なくなり、スタッフで検討をした結果、彼らの出演場面のうち2場面は、チームのOGで今回のサポータースタッフが、急遽代役で舞台上に立ってくれました。全員でここまで来たのに、最後にこんな事がチームに起こるとは……また、これまでのふたりの頑張りを思うと、本当に辛い出来事でした。そのほかにも、私たち講師は、色々制限がある中で稽古に苦戦しましたが、サポータースタッフの皆さんのお陰で公演を迎える事が出来ました。  
毎回、稽古で子どもたちのサポートをしてくれて、とても信頼のおける人々です。なんて素晴らしいチーム!!  
サポータースタッフが、このような状況でもこうしてチームを育て守ってくれています。出来ない事ばかりに目を向けるのではなく、今だから気付ける事に心を向けて、これからも長岡の皆さんと未来を創作し続けていきたいです。(鈴木彩子)



## いずみたく没30年記念企画

## 尾藤イサオ インタビュー

聞き手：濱田高志

尾藤イサオさん



「ラブ・トリック」

左=尾藤イサオ、右=いずみたく



先日、オールスタッフに縁の深い歌手の尾藤イサオさんにお話を伺った。

尾藤さんといえば、ある世代にとっては、ロカビリー・シンガー、そして、次の世代には、「あしたのジョー」主題歌の歌唱者として、あるいは、映画やテレビドラマの俳優、さらに1980年代半ばに一世を風靡したアメリカの人気ドラマ『マイアミ・バイス』(84年)でドン・ジョンソン演じるソニー・クロケット刑事の相棒、リカルド・タプス役のフィリップ・マイケル・トーマスの吹き替え声優としてお馴染みの方もいるだろう。近年も歌手としてはもちろんのこと、舞台、テレビ、映画の各分野で活躍されている。本稿では、そんな幅広い活動のなかから、いずみたく、そしてオールスタッフとの関わりについての逸話を紹介する。

## いずみたくとの出会い

——尾藤さんは、オールスタッフが生産したミュージカル5作品に出演されています。ここでは順にお話を聞かせて下さい。

僕をミュージカルの世界に導いて下さったのが、いずみたく先生なんです。ロカビリーを歌っていた僕を先生がご覧になって、声をかけていただいたのがきっかけでした。

先生との最初の仕事は、新宿にあったATG(アートシアターギルド)の拠点となった映画館、新宿文化劇場で上演された『夜明けのうた』(64年)でした。あそこは、映画がハネたあとに舞台公演を行なう劇場で、アートシアター新宿文化と呼ばれていたんです。そういった上演スタイルは、それまで日本にはなかったから斬新でしたね。『夜明けのうた』は、僕が20歳の頃に初めて主役を務めた作品です。その時の相手役が、のちに加山雄三さんの奥さんになった松本めぐみさん。当時、彼女はまだ高校生だったんじゃないかな。

——『夜明けのうた』と同じ年に『悲しき願い』(64年7月発売)が大ヒットして、東芝のヒット賞に選ばれています。いずみさんの著書によれば、これ以前からいずみさんは尾藤さんに注目されていて、その後も何度か声を掛けてオールスタッフに入らないかと口説かれていたそうですね。

僕がオールスタッフに入ったのは71年ですが、いずみ先生とはその前から複数の作品でお世話になっていました。『夜明けのうた』のあとに出演した『結末のない童話』(66年)や『聖スパン』(68年)は入社前の仕事です。いずみ先生たちは、稽古が終わると、よくその場で呑んでいましたね(笑)。

『結末のない童話』は、天地総子さんと一緒にした作品です。昔、TBSのそばに鉄塔があったのをご存知ですか? 『結末のない童話』をやった時の稽古場がその近くにあったんですよ。ある時、地震があって、慌てて外に飛び出したら、その鉄塔がぐらぐらんと揺れて



「結末のない童話」

いて。一緒に出演していたキューティーQの娘たちが「こわい、こわい」と言いながら僕にしがみついていたんだけど、僕は声を震わせて「おれだってこわいんだよ!」って言ったことで、がっかりされたのを覚えています(笑)。

その次の『聖スパン』は、西村晃さんと出た作品ですよ。当時、西村さんのお付きだったのが、市村正親くんでした。この作品には、今陽子ちゃんも出演していましたけど、彼女、当時はいずみ先生のところに下宿していたんじゃないかな。

——この2年後、尾藤さんは『あしたのジョー』(70年)の主題歌を歌われているんですが、オールスタッフに入られるのは、その翌年71年なんですね。『夜明けのうた』から7年も経っています。いずみさんは、それまでずっと尾藤さんをご覧になって、役者として育てたいと考えていたそうですね。

ええ。僕は最初に入った大橋事務所を辞めたあと、田邊昭知さんのスパイダクションに誘われて1年間お世話になったんですが、そこが解散して、そのあとがオールスタッフです。いずみ先生の秘書の深沢さんという方が、僕と先生の間を取り持って下さって、それから81年まで10年間在籍しました。入社して最初の作品は、ミュージカルプレイ『泥の中のルビー』の再演(73年)でした。

——『泥の中のルビー』には、『あしたのジョー』で丹下段平役だった藤岡重慶さんが出演されていました。

この作品で重慶さんが演じるキャラクターは悪役で、ギャングなんですけど、子供の時からヨーヨーが好きだったという設定で役作りをされていたんですよ。食事している時に、「尾藤くんは曲芸をやるから、ヨーヨーなんかできないかな?」なんて聞かれました。重慶さんが稽古場で一所懸命にヨーヨーの練習をしていたのを覚えています。脚本にはそんなこと書かれていないんですけど、ご自身で考えられたんですね。重慶さん、懐かしいなあ……。

## 「尾藤イサオ&amp;ドーン」について

——『泥の中のルビー』に次ぐ仕事が、尾藤さんも出演された映画『ワル』(73年)の主題歌で、これはファズ・ギターが印象的な楽曲です。その後、歌手活動としては、尾藤イサオ&ドーンの諸作に続きます。いずみさんのレコーディング時の様子はいかがでしたか。

『ワル』の主題歌は結構早く、パパッとできましたね。僕が最初にレコーディングした「ヒ首マッキー(マック・ザ・ナイフ)」(64年)なんかは、ボビー・ダーリンが歌った英詞の原曲で馴染んでいたものだから、日本語の歌詞になった途端にノリがわからなくなっちゃって、足踏みして何度も録り直した思い出がありますが、いずみ先生のレコーディングの場合、何回も録り直すなんてことはなく、いつもスムーズに運んでいたように記憶しています。

あと、ドーンとやった曲で印象に残っているのが、「裸足のマリー」(78年3月)。普通、A-A-B、Bから間奏が入って、サビに行……



「泥の中のルビー」チラシ

という形式のところ、いずみ先生が、「この曲はサビから始まる曲にしたいんだ」とおっしゃっていたのを覚えています。

——以前、今陽子さんにお話を伺った際、いずみさんはニンニクが大好きで、それこそ自身のレベルに「ガーリック」と命名するほどですから、スタジオはいつもニンニク臭かったということでしたが、尾藤さんのレコーディング時はいかがでしたか。

先生はスタジオでもどこでも、常に皮の袋にお酒を入れて持っていたので、僕の場合、いずみ先生といえば、お酒の印象のほうが強いですね。お酒が好きな先生でした(笑)。

——そもそも、尾藤イサオ&ドーンはどういった経緯で結成することになったのでしょうか。

「幸せの黄色いリボン」(73年)なんかを歌っていたトニー・オーランド&ドーンというグループがいてね。ドーンというのは「夜明け」という意味なんですが、女性ふたりのコーラスを従えたグループで。当時、オールスタッフにいた朱里エイコさんの旦那さんが、ラスベガスのラウンジ・ショーで彼らの演奏を見たところ、とてもオシャレでよかったので、「尾藤くんもああいうのやったらどう?」と持ちかけて下さって、そこで彼らと同じように、女性メンバーふたり、ハコちゃん(日野葉子)とヨーコちゃん(佐藤曜子)と組むことになったんです。

ドーンとは、ハチャトリアンの曲に、なかにし礼さんがオリジナルの歌詞をつけた「剣の舞」(79年2月)というのを録音したんですけど、どうして僕がああ曲を歌うことになったかといえば、当時、東芝で僕を担当して下さったディレクターの草野浩二さんと、内田裕也さんを担当されていた渋谷森久さんが、僕が昔ジャグラーをやっていたことをご存知で、「ステージで剣を持って歌ったらどう?」と提案されたのが企画の発端でした。芸は身を助くというかね。当時、NHKかどこかの番組で、ステージ上の雑壇から剣を投げながら降りてきて、たまに剣を落っこしちゃうたりもしましたよ(笑)。

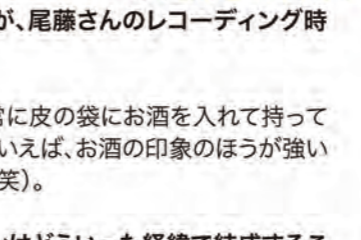
——「剣の舞」が発売されたのと同じ月にご出演されたのが、山川啓介さん作の『ラブ・トリック』という作品で、お相手はジュディ・オングさんでした。

僕の場合、いずみ先生は別として、普段から作家の先生がたと私的に食事に行く機会はなく、ほとんどが仕事の現場でのお付き合いなんですけど、山川さんとは一度だけ、北海道の苫小牧に行った際に、食事をご一緒させていただいたことがあります。その時に僕がロカビリーを歌っていた頃からのファンだったと教えていただきました。山川さんは、とてもやさしい雰囲気の方でした。

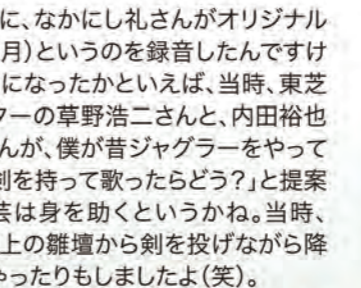
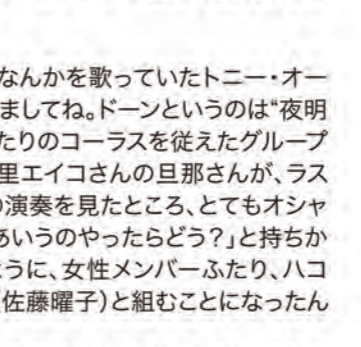
そういえば、『ラブ・トリック』にはドーンの2人も出ていたんですよ。といっても、舞台のうしろのほうで粗大ゴミ置き場に置かれたマネキンの役なんですけど。彼女たちは2時間近く、それこそ幕間もずっとその場でじっと立っているんです。お客さんも本物のマネキンだと思って見ているんですね。ところが、芝居のあと、カーテンコールが終わると、急に彼女たちが動き出すものだから、お客さんがそれに驚いて、そこが一番ウケたっていう(笑)。そんな思い出があります。



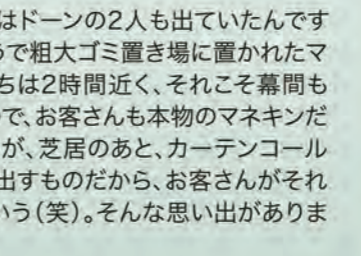
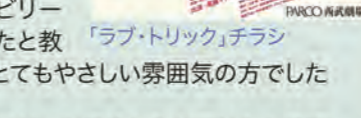
「剣の舞」レコードジャケット



「ラブ・トリック」チラシ



「ラブ・トリック」チラシ



## 育ての親、いずみたく

——尾藤さんにとって、『ラブ・トリック』がオールスタッフでの最後のお仕事なんですね。いずみさんの自伝によれば、81年に「ミュージカルに専念するためにタレントやスタッフを整理した」ということで。

そう、タレント部門や各種スタッフは解散したんですが、実は僕はそのあとも1年間いずみ先生のもとに残っていたんです。おそらく、そのことをいずみ先生は本には書かれていないと思いますけど。先生は、三浦半島の油壺に別荘とご自宅、そして船もお持ちだったんですね。そこにお邪魔したりしていました。ですから、スタッフ解散後も先生とは個人的にお付き合いが続いていましたね。

最後にお会いしたのは、志賀高原だったかな。それまで、具合が悪くてどこかに入院しているなんて話は、一切聞いていなかったのに、訃報は突然でした。先生の妹さんでオールスタッフ前社長の土屋由美さんから伺ったんです。「逝っちゃった……」ってね。

——今振り返った際、尾藤さんにとって、いずみさんはどういった存在でしょう。

僕は10歳から曲芸を始めて、師匠から芸を教わりましたけど、ミュージカルの世界に引張って、導いて育てて下さったのは、いずみ先生です。親父としちゃ若過ぎるけど、親父のような兄貴のような存在です。そういえば、ある時、先生からこんなことを言われました。「ニュージャパンにオレの(ボトル)があるから、そこ行って飲めよ」って。

——最後に、いずみ作品のなかで一番好きな曲を教えてください。

やっぱり、「夜明けのうた」かなあ。

——来年は、いずみさんの没後30年ということで、様々な企画が控えているようです。ぜひ尾藤さんの「夜明けのうた」も聞かせていただきたいですね。

僕なんかでお役に立てることがあればぜひとも。僕は今年でデビューして60年近くになりますけど、今またこうして、いずみ先生の話ができるのは感無量ですね。

(2021年10月4日オールスタッフにて)

いずみたく没30年記念ライブ AFF助成  
「いずみたくNight-We Sing Taku's Melody-

各回30名限定!いずみたく楽曲のみ、いずみたく&イツフオーリーズのファンに贈るライブです。藤森裕美、吉田 雄、宮田佳奈ほか日替わりでほぼ劇団員総出演、ゲストも登場。

12月1日(水) 19:00開演/2日(木) 14:00開演/4日(土) 19:00開演

5日(日) 14:00開演/6日(月) 19:00開演

※開場は開演の30分前 ※未就学児入場不可

【会場】 ライフハウス上野Untitled  
https://www.mobile-untitled.com/  
東京都台東区上野桜木1-5-6地下1階  
(JR上野駅 公園口より徒歩8分)

【出演】 藤森裕美、吉田 雄、宮田佳奈  
日替わりでイツフオーリーズメンバーとゲストが出演  
演奏=吉田さとる、田中和音、石田 純

【入場料(自由席/消費税込)】 前売 3,500円(1ドリンク別600円)

【前売開始】 11月5日(金)



# イツフォーリーズ活動状況

ミュージカル

## 小さい“つ”が消えた日

9月 29日(水)	千葉県行方市
10月 4日(月)	山梨県笛吹市
6日(水)	東京都東大和市
13日(水)	茨城県古河市
14日(木)	千葉県市川市
15日(金)	千葉県市川市
17日(日)	東京都立川市
19日(火)	山梨県北杜市

ミュージカル

## 煙緋の匣

11月 10日(水)～15日(月) オルタナティブシアター

## イツフォーリーズコンサート

12月 26日(日) 埼玉県秩父市

ミュージカル

## 遠ざかるネバーランド

2022年  
3月 18日(金)～19日(土) 東京都北区 俳優座劇場  
23日(水)～27日(日)

文化庁委託事業 令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業  
日本の演劇人を育てるプロジェクト 新進演劇人育成公演

### 音楽劇「ミルクマンの朝は早い」

2022年1月26日(水)～30日(日)

こくみん共済 coop ホール/スペース・ゼロ

1月	26日	27日	28日	29日	30日
	水	木	金	土	日
14:00	●	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	

※開場は開演の45分前

### 【スタッフ】

脚本・演出＝堤 泰之 音楽＝吉田さとる  
主催＝文化庁／公益社団法人日本劇団協議会

### 【出演】

イツフォーリーズ  
吉田 雄・神野紗瑛子・神澤直也  
岩城風羽・加藤 梓・吉田美緒

大本泰篤・金子大介・熊谷 嶺・櫻井しおり  
芹沢尚哉・仁木祥太郎(テアトルエコー)・春山 棕  
藤白レイミ・水島麻理奈・宮田龍平  
田上ひろし(SET)

### 【前売開始】

2021年12月1日

### ■劇団員

茂木沙月・森 隆二・明羽美姫・米谷美穂・藤森裕美・田島麻子・堀内俊哉・金村 瞳・浅川仁志・中山 圭・大浴ちひろ・大西健次・吉田 雄  
水谷圭見・鈴木彩子・石川裕梨・田中愛実・吉村健洋・大川 永・加藤木風舞・福岡美里・宮田佳奈・山川優海・東城由依・藤廣果歩・三谷千季・矢野叶梨  
刀根友香・向谷地愛・近藤萌音・成観 礼・杉尾優香・徳岡 明・神野紗瑛子・神澤直也・半澤 昇・藤田朋花・松本裕子  
石井 董・尾ノ上彩花・日野七乃葉・森山真衣・岩城風羽・加藤 梓・吉田美緒 / 井上一馬・澤田美紀

■オールスタッフ所属 吉田さとる 坂口阿紀 河本章宏

■ワークショップ講師 今宮多力香

## イツフォーリーズライブ いずみたくナイト



汗が滴のように流れる猛暑の中、7月24日に上野恩賜公園野外ステージにてイツフォーリーズライブ「いずみたくナイト」を行いました。2018年の「平和をうたおう」に続き、うえの夏まつりの参加演目となりました。

いずみたく楽曲だけで構成したライブは、スタンダードからレアな楽曲まで、カーテンコールも含め17曲。総勢20名の劇団員と、3名のバンドで真夏の野外ステージを盛り上げました。また、4月に入団した45期と昨年入団した44期の7名でスクールメイツならぬ「たくメイツ」を結成。往年の歌番組を彷彿させる派手なショーをご覧頂いた皆様から熱い拍手を頂きました。

来年のいずみたく没30年に向けて、幸先のよいスタートを切ることが出来たライブでした。(中島康江)

## 1 4 0 文字内

### で 編集後記

小さいつが消えた日の本番が終わって東京に帰る道のりは必ず眠れません。疲れて寝てしまってもいかに、アドレナリンの量がすごいらしく、身体は疲れているのにいつも眠れません。寝るのだけは一番得意と言えるはずなのに、この時だけは全然眠れません。悔しいー…！(福岡美里)

映画「旅立つ息子へ」の中で、グラフィックデザイナーを引退した父親のヒット作が“空飛ぶトースター”だった、というのを見てから、フライングトースター、今はどうなっているんだろう？と気になってしまい、再発売されていたAfter Darkを購入。この懐かしさを共有出来るのは吉田さとるさんくらいかな。(中島康江)

続々と舞台幕開けしている。9月だけで観劇した舞台は16本。どの団体も万全の体制、必死なのが分かる。それでも千穂楽までは絶対という言葉はない。みんな腹を括っているのだ。“prepare ourselves for the worst”。自分自身を準備して…結局自分の心構えてことか。心臓にもっとと毛を生えさせなくては。(yt)